

地域ぐるみのイノシシ対策（山形県米沢市梓山）

- 地域の住民が主体となった被害防除対策（広域電気柵の設置）
- ICTを活用した効果的・効率的な捕獲方法を実施（ICT大型囲いわなによる捕獲）
- 反省点等を地域住民と地元猟友会とで意見交換し、連携を強化（地域ぐるみの取組の推進）

取組内容

- 地域の住民が主体となり、イノシシ防除のための広域電気柵を設置



- 地元猟友会の協力を得て、ICTを活用した大型囲いわなを設置



- 地域住民と地元猟友会が定期的に情報交換を行い、反省点の洗い出しをするともに、連携を強化

成果

- 地域ぐるみの取組を通じ、地域全体の鳥獣被害防止対策への意識及び主体性が向上
- 地域住民と地元猟友会の連携が強化

今後

- 地域主体の積極的な対策について今後も推進するとともに、イノシシの防除対策の中でセンサーカメラを活用し、移動経路を絞り、有害個体の効果的・効率的な捕獲を推進

地域ぐるみのイノシシ対策(山形県米沢市梓山)

きっかけ・背景

- イノシシによる掘起し被害や食害等により、基幹作物である水稲被害が発生



課題

- 対策方法がわからないため、被害軽減に繋がらない場当たりの捕獲が横行



Step1 己を知り相手を知る(H30)

- 被害対策コンサルタントを講師に、市の協議会等がイノシシ対策研修会を開催し、基礎知識を習得
- 被害対策コンサルタントを講師として集落環境点検を行い、現状を把握

今後も地域主体の積極的な対策について推進するとともに、イノシシの防除対策の実施によりセンサーカメラを活用し、移動経路を絞り、有害個体の効果的・効率的な捕獲について推進

Step2 防除(H30)

- Step1で知ったものをアウトプット(集落環境点検結果の共有)
- 個人ではなく地域の住民全体で原因(農作物残渣廃棄物)の排除、電気柵を設置・管理

Step3 効果的捕獲(R元)

- ICTを活用した大型囲いわなを地域住民と猟友会共同で設置
- 有害個体の効果的・効率的な捕獲の試験

取組の特色

- 取組の前は、イノシシ対策の誤った知識が横行しており、対策を行えど効果が薄く疲弊感が蔓延
- 様々な試験を行いながら情報交換をし、楽しく対策を実施

取組による成果・効果

- 地域ぐるみの取組を通じ、地域の鳥獣被害防止対策への意識及び主体性が向上
- 地域住民と地元猟友会の連携が強化